

はじめに

第56回となる建設コンサルタンツ協会近畿支部主催の「令和5年度研究発表会」は、新型コロナウイルスが終息したため、大阪科学技術センターにおいて入場制限なしでの全面集合形式の開催としました。さらには、土木学会関西支部と、ポスター発表のコラボレーションを実現できました。

ポスター発表は、土木学会関西支部主催の関西土木工学交流発表会(旧年次学術講演会)において、建コン39編および土木学会48編を、建設技術展(インテックス大阪)の同一会場で実施することとなりました。また、インプレッシブポスター賞(来場者投票)を、共同で選出・表彰することとしました。建コンとしては、学生ポスター発表に負けられない思いです。

2年間開催できなかった学生発表を復活させたところ、過去最多の14編の応募がありました。大学研究室の先生・学生や、企業に来た学生インターンに各委員が働きかけた成果と考えます。研究発表会の会場には、来場した学生に建設コンサルタントの業務や職場の雰囲気を知っていただく建コンPRブースを設けます。土木学会とのコラボも含め、こうした取り組みにより、学生の建設コンサルタントへの関心を深められると思います。

一般論文発表は、53編と例年と変わらず多数の応募をいただきました。委員会報告は、昨年参加いただいた、社会資産共有委員会、環境安全委員会、BCP委員会、ICT研究委員会、道路研究委員会、インフラメンテナンス研究委員会、河川研究委員会、働き方研究委員会、魅力発信委員会に加えて、高速道路委員会阪神高速WGからも参加いただき、日頃の活動をアピールしていただきます。

特別講演は、2講演となります。一つは国土交通省近畿地方整備局技術調整管理官の田中徹様をお迎えして「建設コンサルタントをとりまく最近の話題」をご講演頂きます。もう一つは、大阪公立大学教授の嘉名光市様をお迎えし、「大阪・関西万博を契機としたまちづくり～御堂筋を中心として～」をご講演頂きます。当日会場で聴講できなかった方も、建コン近畿支部ホームページより動画公開期間内にぜひご覧ください。

結びにあたりまして、今年度のチャレンジ企画となる土木学会とのコラボが成功し、大学・学生と建設コンサルタントの交流が活性化することを切に願います。最後となりましたが、研究発表会にご参加くださった皆様、論文執筆発表者の皆様、特別講演を快くお引き受け頂きました皆様、審査員の皆様、たくさんお手伝いいただいた近畿支部事務局の皆様、企画準備いただいた各委員会の皆様、研究発表会の相談に乗っていただいた企画部会の皆様、コラボに尽力いただいた土木学会の皆様、そして準備に1年間もの時間を割いて頂いた研究発表委員会の皆様に、心から厚く御礼を申し上げます。

令和5年9月

令和5年度 研究発表委員会

委員長 竹林 弘晃